

# 議 事 録

会議名	令和元年度第1回介護保険運営協議会
開催日時	令和元年5月31日（金）午後1時30分から午後2時40分まで
開催場所	すこやかセンター3階 講習室
委員出席者	清水委員（会長）・藤井委員（職務代理者）・中條委員・井上委員・田附委員 小川委員・本條委員・石原委員・小田委員・藤本委員・奥村委員・臼井委員 兼松委員・瀧上委員 （順不同）
欠席者	本城委員
事務局	高橋理事・林次長 （介護保険課）西田課長・竹村参事・田中係長 （長寿政策課）遠山課長・吉野係長・平野主任 （地域包括支援センター）森口所長・今江参事・上本参事
会議の次第	1 開会 2 報告事項 （1）平成30年度第5回地域包括支援センター運営協議会の報告について （2）地域密着型特別養護老人ホーム（小規模特養）施設の整備状況について （3）令和元年度保険者機能強化推進交付金について 3 協議事項 （1）総合事業について 4 閉会
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
会議資料	◇ 平成30年度第5回守山市地域包括支援センター運営協議会会議資料 ◇ 地域密着型特別養護老人ホーム施設整備状況について <資料1> ◇ 令和元年度保険者機能強化推進交付金について<資料2> ◇ 総合事業について <資料3>
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	なし

## 1 開会

## 2 報告事項

- (1) 『平成30年度第5回地域包括支援センター運営協議会の報告』

平成30年度第5回地域包括支援センター運営協議会資料

### 【事務局説明：森口】

- ・南部地区地域包括支援センター：平成31年4月1日にすこやかセンターより業務委託により開設し、令和元年5月16日にエルセンター敷地内に新たに整備した事務所を移転。平成30年12月～3月の間に受注事業者へのケースの引継ぎや研修等を行った。

- ・平成 31 年度圏域地域包括支援センターの収支計画および事業計画について報告。

**【質疑応答】**

なし

- (2) 『地域密着型特別養護老人ホーム（小規模特養）施設の整備状況』について 資料 1

**【事務局説明：田中】**

- ・令和元年 5 月開設予定であった小規模特養（荒見町地先）のスケジュールに変更が生じ、開設予定が令和 2 年 3 月以降となる。
- ・遅延理由：用地交渉の難航により進入路の変更が生じたこと、材料費・工事費の高騰により金額が合わず不調となったこと、契約の合意に至った建設会社が資材の調達ができず契約を断念したことによる。→その後、最も資材の入荷の早い建設会社と契約。

**【質疑応答】**

<p>湧上委員</p>	<p>資金計画が当初より随分変わってきていると思うが、今後問題は起きないか。また、30 年度の決算金額、年度の資金計画がどのようになるかについて伺いたい。</p>
<p>事務局（西田）</p>	<p>資金計画に変更が生じた部分については、業者が複数の銀行と折衝を行う中、資金を調達するという報告を受けている。また、現時点では 31 年度の事業計画を受け取っていないので、取り寄せて確認したい。</p>
<p>小川委員</p>	<p>当初の開設に向けて確保したスタッフの採用の中止や期間の延期など、人件費に対して影響が出ているのではないか。また、入居予定者に向けた説明やサービスへの影響にも支障が出てくるのではないか。そのあたりの状況は把握できているのか。</p>
<p>事務局（西田）</p>	<p>スタッフの確保については現時点では把握できていないので、早急に確認する。事業所を所管する法人が所有している老人ホームの中で、人材育成のために研修を行っているとは伺っている。入居予定者への影響については、大変申し訳なく思っている。秋以降に業者から地域に出向き、開設についての説明会を開く計画を立てている。情報が入り次第、速やかに希望者に情報を伝える方法を検討する。</p>
<p>藤本委員</p>	<p>人員が確保できないためにサービスの一部をやめたという施設の話をよく耳にする。新規で人材の確保をすることが難しい状況であるので、人材確保の状況については細かく確認してほしい。</p>
<p>中條委員</p>	<p>高齢化に伴い、ここ一年でも介護事業所の指定状況は増加しているが、一方でサービスの利用者は横ばいであるので、安定した経営を続けていけるのかどうか懸念される。その点について事務局でわかることがあ</p>

	れば説明してほしい。
事務局（高橋）	地域密着型サービスの利用に向けて、各事業者にはご尽力いただいている。安定した経営については、第8期計画に反映していくべき検討課題でもあるので、状況調査を行うことで実態をしっかりと把握し、引き続き方向性等を検討していきたい。情報が入り次第、報告する。
清水会長	市全体の福祉機関のハード面の進捗状況、スタッフの採用状況、市民のニーズは常に変動する。これらの3つの状況を可視化するしくみをどのように作っていくか、が今後の課題ではないか。可視化することで、全体の戦略を立てていくべきである。
井上委員	人員不足に伴い、外国人ヘルパーが増加してきていることが、市民の関心の対象となっている。守山市として、外国人ヘルパーの積極採用という選択肢を将来的には考えているのか。また、新しく施設を作ることに限界が来ているように感じる。あいむ勝部の事例のように、跡地を活用していくという方法も、ひとつのあり方ではないか。
田附委員	市の介護施設数や待機状況は、その地域の住みやすさの一つの指標になると思う。ホームページ等で他市との比較が容易にできるといい。また、今後事業所開設の遅延があった場合には、事業者と市の間で定期的に状況を確認する場を持つ等のルールを設けてもいいのではないか。
事務局（竹村）	守山市、草津市、栗東市の介護施設等の一覧表は、介護保険課や地域包括支援センターに設置している。他市との比較表については、滋賀県がホームページに掲載しているので、紙ベースにして窓口を設置することを検討する。施設開設の遅延があった場合は、その都度地元に対しての説明を事業所から行ってもらうよう、指導して行きたい。
本條委員	当初の開設時期に向けて募集したスタッフを「研修」として雇う人件費を確保できる事業所は少ないのではないか。新たな施設ができればそちらに職員が流れ、他の施設やサービスが人員不足によって閉鎖される可能性がある。人員の確保に関する問題は事業所任せにせず、市が定期的に募集状況等を確認するべきである。
小川委員	施設を新規で開設したが、スタッフ不足により入居の受け入れができないという事例があり、今回の工事の遅延においても、同じことが起こり得る。市からの補助金には開設準備金も含まれていると思うが、人件費が不足することも明らかであり、早めの対応が必要である。第7期計画の公募でも同じような状況が起こることが予測されるので、今回の現状を整理したうえで計画を見直すべきである。また、施設の空き情報は、滋賀県のホームページでは簡単に検索することはできない。少なくとも、居宅介護のケアマネジャーの空き情報の公表についてはすぐにでも検討されたい。
事務局（高橋）	市民が何を求めているかという視点で取り組んでいく必要がある。施設入所待機者数は、申し込みの重複により把握が難しいが、目安となる数

	<p>字は知らせていきたい。本日ご意見・ご指摘を頂いた事項については、できる限り対応していきたい。施設の募集については、当初計画では想定していなかった資材の調達の問題があったが、計画した以上は遅れが出たとしてもしっかりと整備をしていかなければならない。業者に対しても、随時状況の確認や窓口の面談も行っている。スタッフの確保の問題については、業者にも今年度の開設を承知の上で契約をしているので、業者に対してしっかりと確認・指導を行う。</p>
清水会長	<p>事情があるのはわかったが、スタッフの確保問題は影響が大きいので、確認・指導してほしい。ひとつの遅れが他にも影響が出る危険性があるので、危険性の担保を考える必要がある。また、制度が複雑化しているので、市民にもいろいろな思いがあるかと思う。市民に対し、どのような情報をどのように集め、公開していくかという指針を検討してほしい。</p>

(3) 令和元年度保険者機能強化推進交付金について 資料2

**【事務局説明：吉野】**

- ・ 自立支援と要介護状態の重度化防止につながる取組の強化を目的とし、平成 30 年度から始まった交付金である。
- ・ 今年度の予算：都道府県と市町村を合わせて 200 億円程度
- ・ 前年度からの見直し内容：前年度の実績をどのように活かすかについての進捗管理を問う設問が設定された。また、配点を細分化し、得点しやすい仕組みとなった。
- ・ スケジュール：令和元年 7 月に交付金内示額・評価結果の提示、8 月に交付申請、12 月に交付決定
- ・ 国からの内示・評価結果の送付を踏まえ、課題の検討と取組みを見直し、第 8 期計画に反映させていく。

**【質疑応答】**

清水会長	<p>評価項目については国が指針を示しているのですが、地域密着型サービスがどのように評価されるかはわからない。どれだけ効果が出たか、を具体的な数字と絡めて提案するほうが評価する側も点数がつけやすい。アピールの仕方を工夫すると、評価点数を獲得しやすいのではないかと思います。</p>
------	--

**2 協議事項**

(1) 総合事業について 資料3

**【事務局説明：吉野】**

- ・総合事業サービスの現状：(対象者) 平成 29 年から平成 30 年にかけては 49 人減少、平成 30 年から平成 31 年にかけては 96 人増加  
(利用者) 訪問型は前年に比べて 3 人の増加、通所型は 16 人増加
- ・総合事業サービスの単価見直し：(従来型サービス) 消費税の増税分を単価に上乘せ、「処遇改善加算」を創設(緩和型サービス) 従来型を基本に市が設定する単価割合により単価を設定

### 【質疑応答】

本條委員	ゆったりデイはこの 4 月で何か所か閉鎖されており、この 1 年で利用者も減少している。今年度の総合事業の対象者は増えているが、ゆったりデイの利用者だけが減ってきている。事業所が増えれば利用者は分散される。運営するにあたって利用者が増える見込みはあるのか。
事務局(遠山)	ゆったりデイの利用者の増加の見込については動向を確認中であり、現時点での回答は難しい。
小川委員	資料 3 に記載の単価見直しに関する 8 月～10 月のスケジュールだが、事業者側からすると非常にタイトである。単価がわからなければサービス提供表を作成することができない。ミスを防ぐためにも、なるべく早く進めてもらえるとありがたい。
清水会長	国の事業でもあり、単価の問題は非常に大きなウエイトを占めている。最近では、ニーズ論が見直されてきている。詳しい調査やグループディスカッションを行うことで利用者のニーズをつかみ、スピード感のある対応をしていけるとよいのではないか。

## 6 閉会

### 事務局より連絡事項

- ・第 2 回介護保険運営協議会  
令和元年 8 月 9 日(金) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで すこやかセンター 3 階 講習室
- ・第 1 回地域密着サービス運営委員会  
令和元年 6 月 7 日(金) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで すこやかセンター 3 階 講習室

(午後 2 時 40 分 閉会)